

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究
研究責任者（所属名）	村里 嘉信（国立病院機構九州医療センター 循環器内科） 施設研究責任者 下村 光洋（国立病院機構嬉野医療センター循環器内科部長）
本研究の目的	左冠動脈主幹部とは、左冠動脈の根元の部分で、大きな血流灌流域を持っているため、従来では、バイパス手術が第一選択の治療とされていましたが、薬物溶出性ステントの登場により、治療成績が改善し、同部位へのステント治療も幅広く行われるようになり、全ステント治療件数の4%を占めるに至っております。この研究は、血管内超音波（IVUS）、光干渉断層撮影（OCT）などの血管イメージングが広く普及した我が国での左冠動脈主幹部の冠動脈ステント留置術治療の臨床的成績を、全国の国立病院機構病院で調査することを主な目的としています。
調査データの該当期間	研究期間 2019年1月1日～2025年1月31日 対象調査期間 2016年1月1日～2020年12月31日
研究の方法 （使用する試料等）	調査研究の対象はこれまでに当院にて左冠動脈主幹部冠動脈ステント留置術治療を受けた患者様です。カルテ、検査データ、レントゲン写真、血管造影所見、手技の方法や合併症の有無、治療後の経過（3年後まで）などの情報を収集します。
個人情報の取り扱い	使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
本研究の資金源 （利益相反）	国立病院機構研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	